高木仁三郎市民科学基金　2014年度助成成果発表会

玄海原発事故時における
自治体の避難計画の実効性の検証

2015年7月18日

玄海原発プルサーマルと全基をみんなで止める裁判の会
代表　石丸初美　　発表者　永野浩二

■調査研究のねらいと主な活動

玄海原発30キロ圏内＝避難計画策定を義務付けられた。
人口26万人（佐賀県19万人、長崎県51000人、福岡県15000人）
住民の命を被ばくから守るための計画になっているのか検証
実効性のある避難計画がなければ、再稼働は認められない！

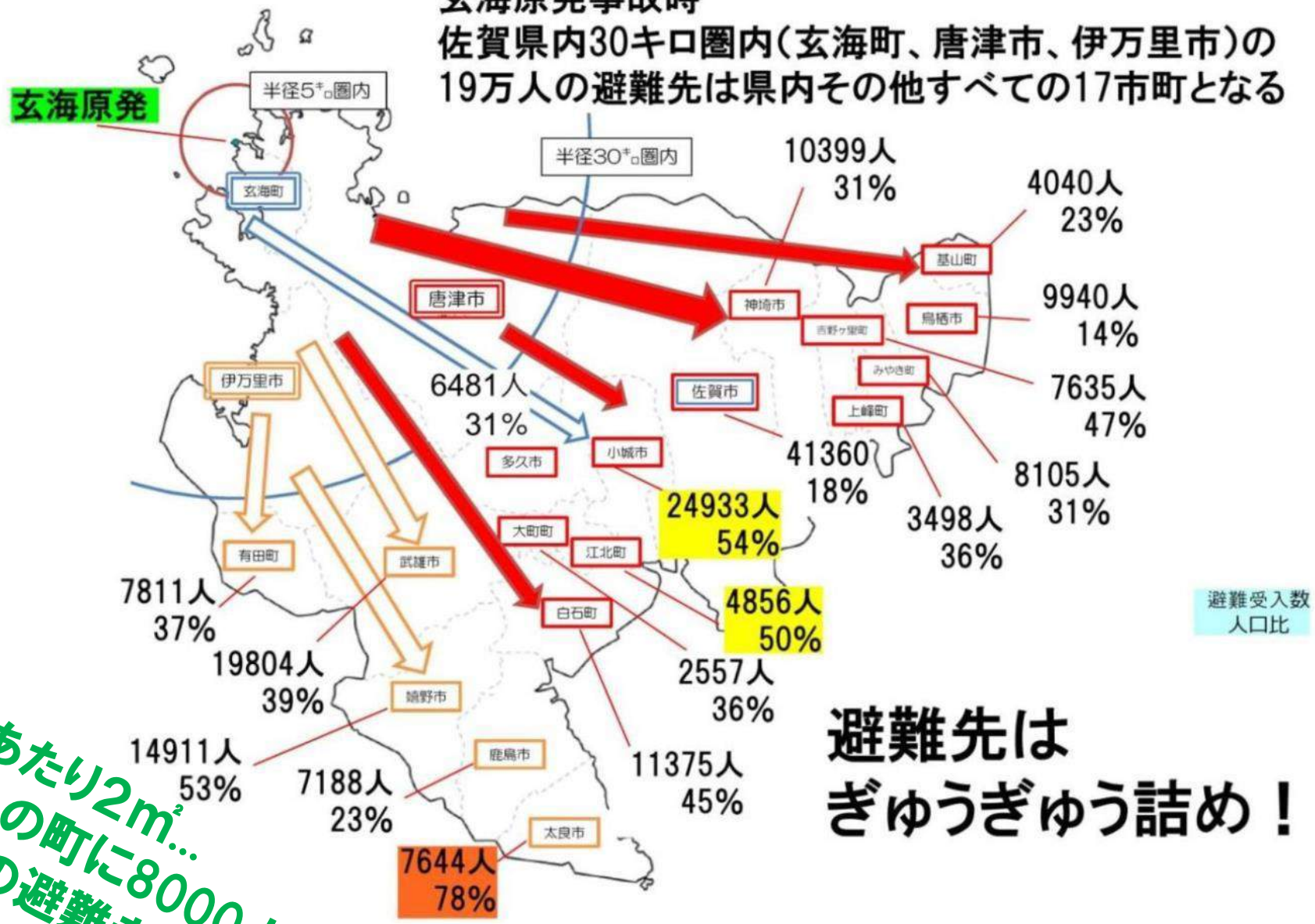
- 佐賀県の全10市10町の避難計画　アンケート・聞き取り調査
  避難元　3市町（玄海町、唐津市、伊万里市）
  避難受入先残りの　全17市町
- 避難所や経路の検証、福祉施設・病院・学校等訪問
- 川内再稼働で揺れる鹿児島での調査
  市民団体による政府交渉などに参加
- 広報活動、自治体・議会ロビー活動

■市町・施設等の訪問・調査で見えてきた問題点

①避難先は"ぎゅうぎゅう詰め"の過密状態
②具体的には何も知らない受入市町
③避難ルートは確保されるか
④風向きや距離の問題
⑤手抜きのスクリーニング
⑥"避難弱者"要援護者切り捨て
⑦複合災害　危険区域にある避難所／孤立集落
⑧最大の問題―福島原発事故の現実を踏まえていない

■①過密避難

玄海原発事故時
佐賀県内30キロ圏内（玄海町、唐津市、伊万里市）の
19万人の避難先は県内その他すべての17市町となる



■②何も知らない受入市町 ④風向き・距離

●受入人数、要援護者、スクリーニング、避難期間など把握していなかった←**県が数を割り振っただけ**

●放射能は方向・距離に関係なく飛散するが、自市の避難は？
「国・県の計画で避難は30キロ圏。その方針を乗り越えられない」

「7000人避難」太良町困惑

事故時 市民団体質問書に

佐賀新聞2014年5月24日

藤津郡太良町は23日、九州電力玄海原発（東松浦郡玄海町）の事故を想定した避難計画などに関する市民団体の質問・要請書に回答した。町は人口の8割近くに相当する約7700人を伊万里市から受け入れる計画だが、「（受け入れに向けた）連絡や相談は進んでいない」として、県や伊万里市との連携不足を指摘している。＝写真

避難計画は県の地域防災計画を基に2013年、伊万里市などが策定。太良町が同市から受け入れる避難者は7687人（2012年4月30日現在）。町の人口9821人（今年3月末現在）の78％に相当する。

市民団体側は具体的な受け入れ先や要援護者への配慮、除染方法など13項目を

ただしていたが、町総務課の担当者は「把握していない」などと回答した。

取材に対し、担当者は避難者数を質問書で初めて知ったといい、「1桁違うのではと驚いた。人口とほぼ同じ人数を受け入れるのは難しい」と困惑。岩島正昭町長は「単純な人口の割り振りではいけない。高齢者らに対応できる医師や介護士の確保など、県や伊万里市ともっと煮詰めた議論が必要」と話した。

質問書を出した団体の一つ「玄海原発プルサーマルと全基をみんなで止める裁判の会」の石丸初美代表は「県は計画が機能すると主張しているが、市町との連携が十分でない。机上の空論だ」と批判した。県内全20市町に提出した質問書の回答は6月初旬までに結果をまとめ、県に質問状を提出する予定。（円田浩二）

■③避難所・避難路の実地検証

伊万里市民受入先の
太良町のホール
（566席の固定イス）

唐津市～鳥栖市まで
64310人の避難ルート

集合場所は大混乱
交差点はデッドロック
急傾斜の土砂崩れ
橋の崩壊
冬場は道路凍結
ガソリンスタンド1ヵ所
スクリーニングポイント
＝2万4000台通るのに
2000時間（8日間）

■⑤スクリーニング（放射能汚染検査）

放射能防御・拡散抑制のために絶対不可欠だが…

1月24日　佐賀県防災訓練にて（住民のごく一部）

★国の基準値　＝120 Bq/ ㎠ 超で除染が必要。法定「放射線管理区域外に物を持ち出す基準」４Bq/㎠の**３０倍**

★代表検査でOK、除染方法未定、大渋滞懸念…

■⑥要援護者切り捨て

原発３キロの特養ホーム玄海園。入所者100人。
玄海原発から風が吹いてくる。
「寝たきりがほとんど。経管栄養で移動困難」「職員にも家族があるし、職員確保が心配」

屋内退避で置き去りに

・放射線防御のダクト工事（3億円）
・非常用発電機（重油燃料3日間）
・食糧や医薬品は3日分の備蓄…

●避難訓練･･･職員が入所者役。玄関開放。自衛隊は前夜から待機

■⑦複合災害　自然災害危険区域にある避難所

避難所が危険区域にある

県内全避難所538か所中

76か所（14%）

（避難元）

集合場所が危険区域にある

唐津市　174か所中

66か所（38%）

「避難所は安全な区域にあるのが大原則」

（2014年12月、唐津市総務部長市議会答弁）

■⑦複合災害
孤立集落

複合災害時
玄海原発30キロ圏内
66集落が孤立

佐賀県内では唐津市の29集落
救助ヘリ着陸スペース「なし」半分以上
食糧備蓄はすべてなし

福岡県糸島市の4集落

■⑧最大の問題
福島原発事故の現実を踏まえていない！

●健康被害の実態、現在も十数万人が故郷に帰れない放射能被害の現実を矮小化・無視

●避難計画は福島原発の放射能放出量の100分の１の想定

● ５～30キロ圏内　空間放射線量が実測値で

・500μSv/時（1日以内に避難）**<平常時0.05の1万倍>**

・20μSv/時（一週間以内に避難）
を超えたら避難。それまでは「屋内退避」…

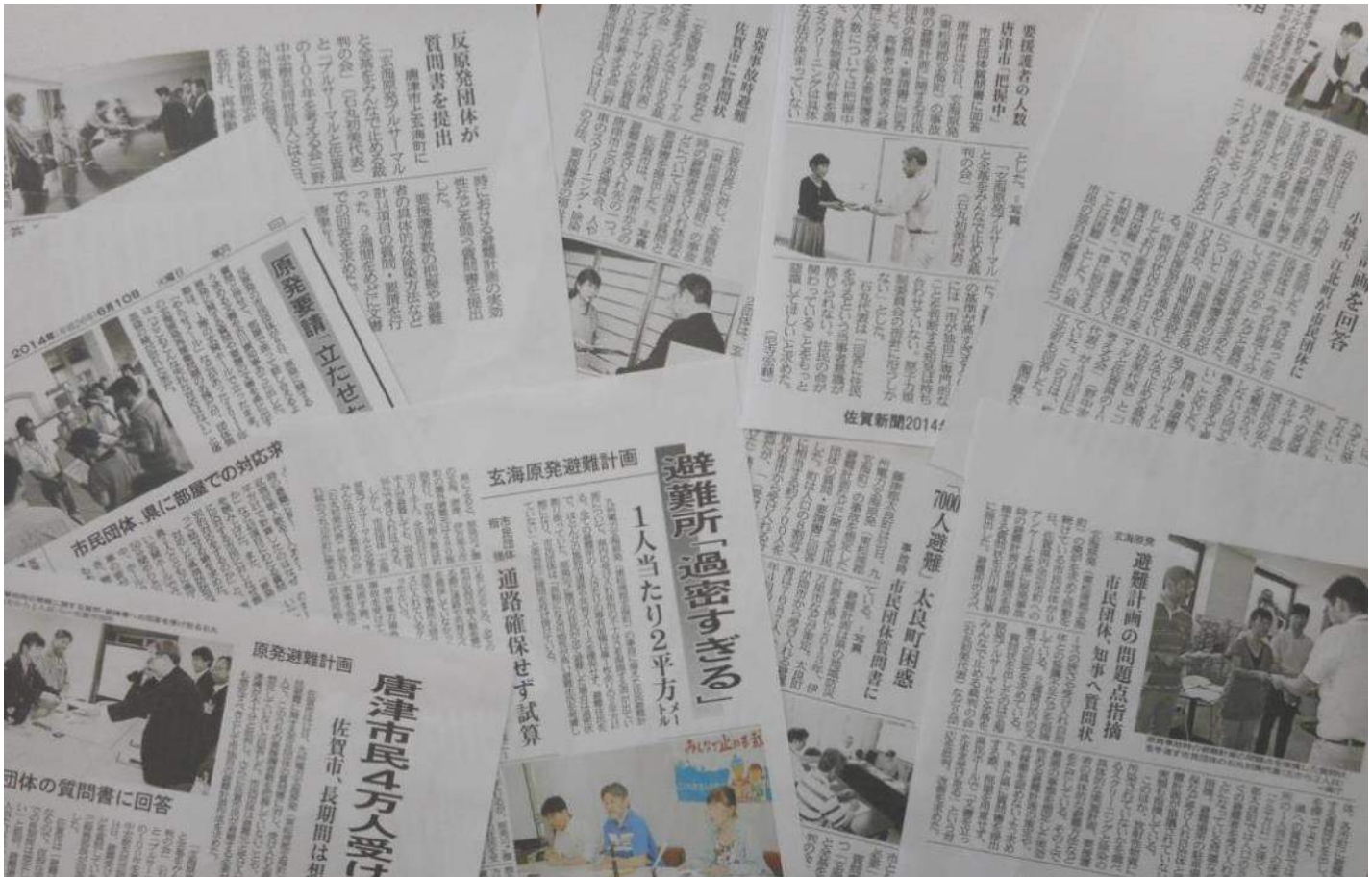
⇒　被ばく（強要）計画！

■講演会・対外発表

・5月31日～6月2日　上岡直見講演会（佐賀市、伊万里市、福岡市）
　　上岡先生に避難計画の全体的な問題点をお話いただいた。
　　あわせて、佐賀県の避難計画について会から報告を行った
・7月21日　原発知っちょる会（福岡県飯塚市）にて報告
・8月24日　「避難計画を考える集いin鹿児島」にて報告
・9月1日　緑と環境プロジェクト（福岡市）にて報告
・10月25日　さよなら原発茅ヶ崎（神奈川県茅ケ崎市）にて報告
・11月29日　被曝しない権利のための西日本集会（大阪市）にて報告
・12月2日　「12.2反プルサーマルの日行動」集会（唐津市）にて報告
・3月18日　大飯原発行政訴訟報告集会（大阪市）にて報告
他、小規模座談会等で随時報告

■広報活動、自治体･議会へのロビー活動

- 避難計画に関する行動を、新聞・テレビで20回報道
- Facebook、ホームページ等ネットでの発信
- 避難計画の実情を知らせるチラシ・資料の作成・配布
- 佐賀県内市町を各２～３回訪問。
  唐津市・伊万里市・佐賀市では連携した議員が一般質問



■市民へのチラシ（一例）

『玄海プルサーマル裁判ニュース第16号』より

原子力災害における避難計画

1人2㎡で算出した「1393人可能」の施設に1368人が避難。ぎゅうぎゅう詰め！

平成25年4月1日現在

地域	No.	地区名	人口	男	女	世帯	人口（20km圏）	人口（30km圏）	集合場所	避難経路（県：県道、国：国道）	避難場所 市町名	番号	施設名		収容可能人員 20km	30km
唐津地区⑭	1	八幡町	1,368	631	737	572	1,368	1,368	佐志中学校	国323→国263→国264→県48	佐賀市	62,64	佐賀市立諸富町公民館、佐賀市立諸富南小学校		1,393	1,393
	2	桜町	265	120	145	120	265	265	人権ふれあいセンター唐津	国323→国263→国264→県30	佐賀市	100	佐賀市立西川副公民館	×	286	286
	3	橋本町	384	173	211	188	384	384	人権ふれあいセンター唐津	国323→国263→国264→国208→県285	佐賀市	93,(102)	佐賀市立大詫間小学校、（佐賀市立大詫間公民館）	×	423	423
	4	佐志南	1,085	530	555	412	1,085	1,085	佐志中学校	国323→国263→国264→県48	佐賀市	63,65,(61)	佐賀市立諸富文化体育館、佐賀市産業振興会館、（佐賀市立諸富小学校）		1,111	1,111
	5	佐志中里	103	52	51	36	103	103	佐志中学校	国323→国263→国264→県54	佐賀市	39	佐賀市立西与賀小学校	×	104	104
	6	佐志中通	468	225	243	189	468	468	佐志中学校	国323→国263→国264→国207	佐賀市	25	佐賀市立昭栄中学校		495	495
	7	佐志浜町	297	133	164	112	297	297	佐志中学校	国323→国263→国208→県285	佐賀市	101	佐賀市立中川副公民館	×	327	327
	8	唐房1丁目	187	97	90	81	187	187	佐志小学校	国323→国263→国264→県54	佐賀市	39	佐賀市立西与賀小学校	×	204	204
	9	唐房2丁目	103	43	60	41	103	103	佐志小学校	国323→国263→国264→県54	佐賀市	40	佐賀市立西与賀公民館	×	116	116
	10	唐房3丁目	143	[illegible]	[illegible]	[illegible]	143	143	佐志小学校	国323→国263→国264→国207	佐賀市	37	佐賀市立嘉瀬公民館		214	214
	11	唐房4丁目	125	59	66	56	125	125	佐志小学校	国323→国263→国264→県48	佐賀市	61	佐賀市立諸富中学校		127	127
	12	唐房5丁目	97	47	50	47	97	97	佐志小学校	国323→国263→国264→県48	佐賀市	61	佐賀市立諸富中学校		104	104
	13	唐房6丁目	682	320	362	256	682	682	佐志小学校	国323→国263→国208→県285	佐賀市	90,92	佐賀市立南川副小学校、佐賀市立中川副小学校	×	705	705
	14	唐房7丁目	79	35	44	38	79	79	佐志小学校	国323→国263→国264→県41	佐賀市	40	佐賀市立西与賀公民館	×	98	98
	15	浦	1,047	496	551	396	1,047	1,047	佐志小学校	国323→国263→国264→県30	佐賀市	97,98,99	佐賀市立スポーツパーク川副体育センター、佐賀市立川副保健センター、佐賀市立川副児童館		1,109	1,109
	16	鳩川	114	54	60	32	114	114	佐志小学校	国323→国263→国208→県285	佐賀市	102	佐賀市立大詫間公民館	×	120	120
	17	枝去木	547	266	281	192	547	547	枝去木公民センター	国323→国263→国264→県20	佐賀市	57,59	佐賀市立蓮池公民館、佐賀市立小中一貫校美容校（美容中学）	×	565	565
		小計	7,094	3,341	3,753	2,826	7,094	7,094							7,501	7,501
唐津地区⑮	1	大	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	302	[illegible]	[illegible]	[illegible]	佐賀市	54	佐賀市立[illegible]		[illegible]	[illegible]
	2	後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	308	[illegible]	[illegible]	[illegible]	佐賀市	52	佐賀市立[illegible]		[illegible]	[illegible]
	3	梨	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	164	[illegible]	[illegible]	[illegible]	佐賀市	[illegible]	[illegible]		[illegible]	181
		小	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	77[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]					[illegible]	806
唐津地区⑯	1	相賀	764	320	444	316	76[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	68	県立[illegible]		[illegible]	805
	2	湊町浜	924	428	496	390	92[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	67	佐賀[illegible]		[illegible]	1,143
	3	湊町岡	1,027	485	542	397	1,02[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	81	佐賀[illegible]		[illegible]	1,108
	4	屋形	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]		384	384
	5	横	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]ンター		245	245
	6	中	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]ンター		54	54
		小計	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]							3,739	3,739

土砂災害危険区域

学校は子ども達を迎える車で渋滞。
車のない住民の集合場所でもある。
ごった返すのは必至！

多くが唐津市中心部を通る。
大渋滞は必至。

国道323号線・263号線は山道。
急傾斜地や橋も多い。冬場は凍結も。
ガソリンスタンドは1か所。

津波・高潮等危険区域

途中、スクリーニングで大渋滞

甘い基準で避難先にも
放射能拡散の可能性

唐津市原子力災害における避難計画
別紙3-2（全14ページ） 唐津地区⑭
全域が玄海原発30キロ圏内の唐津市。
市民13万のうち佐志地域7094人の避難計画を紹介します。
自分がどこの町のどういう場所にどう避難するか知っているでしょうか？

■「みなさんの指摘が県を動かしたんです」
～行政を動かした！～

「避難計画はワークする」
（去年4月、古川・前佐賀県知事）
⇒本調査はまさに「ワークするか」の検証となった。

今年４月、伊万里市が受入先の広さや避難ルートに不備があったとして１８２地区中１８１地区**（９９％）で計画を見直し**。
机上の計画であったことを行政も認めた。

玄海原発事故時の避難先
伊万里市民9割 変更へ
県と調整 基準の室内面積確保

佐賀県は、玄海原発の重大事故に備えた原発から30キロ圏内の住民の避難所を見直す作業を進めている。玄海町、唐津市、伊万里市の避難計画のうち、市域全体が30キロ圏に入る伊万里市では、9割以上の市民の避難先が変更される見通し。国の基準に沿った室内面積を確保し、避難先までの距離を均等化するため。伊万里市の計画変更は4月にも決定し、他2市町も調整を進めていく。

24面に関連記事

県消防防災課などによると、現計画は、福島第1原発事故を受け、２０１１年８月に県が暫定行動計画を策定する際に調べた収容可能人数などを参考に作った。その後、避難所によっては収容可能面積に階段など不適切な部分を含めていた事例が判明した。新たに唐津市民が福岡県経由となる広域避難の考え方なども出たため、県が昨年8月、見直しに着手した。

伊万里市の現計画では、市民約5万6千人の避難先として武雄、嬉野、鹿島、有田、太良の3市2町に学校や公民館など2１０カ所を確保している。ただ、避難所によっては国が示す1人当たり2平方㍍の面積を確保できないケースや避難所までの距離が地区によって大きな差があった。住民の避難先を入れ替えることで対応した。

県は昨年11月、見直し案を伊万里市に提示し調整を続けてきた。玄海町と唐津市には、まだ示していない。

県消防防災課は「収容面積は暫定で策定した時の調査で不備もあった。よりスムーズに避難できるよう、今後も不断に見直していく」と説明している。

（大鋸宏信）

佐賀新聞2015年3月18日

■全国や鹿児島と連携、情報共有

川内原発再稼働で最前線に立たされた鹿児島での避難現地調査や学習会への参加、全国の市民団体との情報共有や政府交渉参加などは有益で、佐賀での調査のベースとなった。

■今後の取り組み

◆自治体にとって避難計画を立てることは必要
◆原発の技術的問題より、自治体や市民にとって身近に取り組める課題

●避難所受入体制、複合災害、要援護者、スクリーニング、ヨウ素剤、離島避難等々、引き続き検証
●住民に近い市町村が、国・県まかせから脱却し、現実を直視して、住民の命を守る砦になるよう市民が行動する
●被ばくを強要し、命を傷つける計画なら、再稼働反対！の世論を高める

川内など「再稼働」の急展開、玄海MOX裁判不当判決（2015年3月20日）など、あわただしい中でしたが、「避難計画」を時宜にかなったテーマとして実践的な調査活動を進めることができました。
玄海原発を止めるために、裁判と運動を“車の両輪”にして、運動面では引き続き避難計画に重点をおいて活動を進めていきます。
　貴基金の助成に感謝いたします。ありがとうございました。

命とふるさとを奪う原発いらない！
2015.3.20　MOX不当判決報告集会
あきらめない。勝利へ向けて。